

話題 其の22:パレスチナ問題 “真実”?

今回も前回と同様に、パレスチナ問題で、私の身の回りに起きる様々な出来事をお知らせします。話題は尽きませんが、「友人達に伝えたい、知って欲しい」ものを列記します。

前回の通信で、4月5日(金)のデモの様子を簡単にお伝えしましたが、その関連です。週明け(日曜日)出勤後の職場における同僚達の様子です。

*ファテマさん: 48才 女性 職業訓練スペシャリスト(看護分野)

4.5のデモに、大学生の娘が、父親と兄弟に付き合った。デモの前列にいた彼女は、警官と対面し、50JD(約9000円)もするレイバンのサングラスを警官に没収(?)された。取り返そうと反抗したら、警棒で膝の側面を殴られた。帰宅した彼女は、怒りで紅潮した顔が治まるのに1時間もかかったのよ……。 (ほほ笑みながら、逞しい母です)

*カンディール氏: 57才 男性 英語教育スペシャリスト(とても穏やかな隣室の紳士)

久米の質問=もしですよ、世界中がユダヤ教徒だったら、争いは止みますかね?

カンディール氏=南部イスラエル、北部イスラエルといくつにも分割して殺し合うでしょうよ。

(実に簡潔、明瞭な答えでした:人間の愚かさを見抜いているんでしょうね)

*アリさん: 46才 男性 職業訓練スペシャリスト(電気分野)

久米=アリさん、風邪引いたの? 声が変わだよ。

アリ=いや~、金曜日のデモで叫びすぎて、声が潰れちゃったんだよね ハハハ……。

催涙ガスを浴びたら、すぐにタマネギやレモンをかじると効果があるよ。

久米も覚えておくと良いよ。(元活動家殿、ご苦労様でした)

*アキール氏: 50才 男性 技術教育職業訓練部 部長(4/10、13:00頃の会話から)

『20才の息子がヨルダン川西岸にある大学で勉強しているので、ヘブロン地区に住んでいる。ちょっと電話で様子を聞いてみようか。(1~2分会話) とにかく、まともな食糧もなく自宅の地下室で身を隠しているんだよ。今も外ではイスラエル軍の発砲する銃撃の音が聞こえているので、充分気をつけるように言った。1日に5~6回は電話して、安否を確認しているんだ。電話は、携帯でイスラエルの電話局に登録しているので回線が使えるけど、パレスチナの電話局に登録している友人には通じないよ。』友人への電話も、目の前で、実際に携帯に登録している電話番号を見せて、通話を試みてくれたけど通じませんでした。平常は穏やかな彼でも、今日は、さすがに息子の安否を気遣う父親の気持ちと怒りを顕わにしました。たまたま私を訪ねてきて、同席していた、青年海外協力隊の女性隊員の真剣に聞いていた態度(目頭を熱くしながら)に『聞いてくれて(解ってくれて)有り難う』と握手していました。11日の10:45am 『息子へTelした。自宅の5~10m離れたところに戦車が止まっている。状況は昨日と変化していない……。』とのことでした。

さて、近頃、テレビ報道を始め、入り乱れる情報に「真実かどうか?」疑ってしまいます。

CNNはじめメディアにも放映するフィルムに大きな差があります。例えば、中東のカタール(だったと思う)のアルジャジーラ放送はアフガン紛争の最中にビン・ラディンへのインタビュー、そして近頃は、パレスチナ内部の紛争中継で時には赤ちゃんの銃撃死体まで放映します。

日本の放送などはホントに真実にベールを被せているようです。殆どのジャーナリストは、視聴率の高い話題のみを追っかけて、真実を伝える義務と誇りを忘れているのでしょうか。

誰かが「見せるべきもの、見せないもの」を決めた後に見せられている。そうやって私たちの世代は育ってきたんですね。中国、韓国との歴史教科書問題も関連しますよね。多分、今の私自身が中東、特にパレスチナ側のメディアにコントロールされているのかも知れませんが。

人間って愚かですね。でも、今回の通信記事(同僚達の会話)は信頼できる筈です。
